

微破壊検査技術

コンクリート構造物内部検査向け(小径ドリル孔)スティック・スキャナ発表!

2007年5月31日 ニューリー株式会社

コンクリート構造物から採取したコアからは、中性化深さや塩分含有量等のコンクリート構造物の劣化診断に用いる多くの情報が得られますが、大径でのコア採取は、構造物に損傷を与え、さらに削孔の際に鉄筋を切断する恐れがあります。本検査法は、小径ドリル孔(φ24mm)を利用し、棒形スキャナを用いることにより、コンクリート構造物の内部状況を鮮明に記録し、そのスキャンニング画像から展開図を作成し、中性化進行状況、ひび割れ深さ、ひび割れ幅を計測するものです。本検査法は、佐賀大学理工学部、伊藤幸広助教授により基礎開発され、本スキャナは、株式会社計測リサーチコンサルタント社と、ニューリーの共同開発により製品化を行ったものです。尚、本スティック・スキャナは、6月6日から開催される'07画像センシング展に参考出品します。



スティック・スキャナ本体



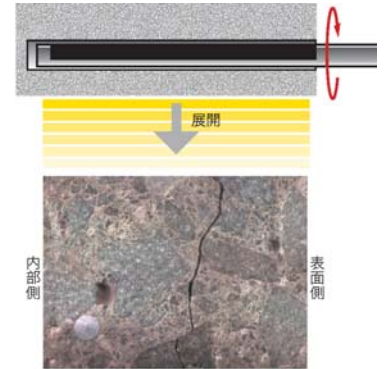
孔内スキャン



ドリル削孔



孔内スキャン



孔内展開図画像

■特長

- ◎小径のドリル孔で複数の内部欠陥・劣化状況の検査に対応可能
ひび割れ幅・位置, ジャンカ, コールドジョイント, 空洞, タイルの浮き, 中性化, 注入材の充填状況等
- ◎装置が小さく, 検査方法も簡易で, 1人で検査が可能。熟練を要さない。
 - 検査点数を多く取れる
- ◎高倍率で鮮明なカラー画像が得られる。
 - 検査精度が高く, 検査結果の記録・保存が可能
- ◎ドリル孔が小径であるため, 検査後の補修が簡易。
- 内部欠陥があった場合は, 注入材の注入孔やアンカーの定着孔として利用可能

■仕様

- ・型式 : Stick Scanner(SS-2)
- ・本体 : 全長 877mm~1171mm(伸縮構造)
- ・センサー : 密着型イメージセンサ(CIS)長:218mm
- ・読取りサイズ : 80mm×218mm
- ・読取り解像度 : 600dpi/RGBフルカラー1677万色

■株式会社 計測リサーチコンサルタント

〒732-0029 広島市東区福田1丁目665-1
TEL082-899-5471 FAX 082-899-5478
代表取締役社長 岡本 卓慈

■販売予定価格

未定

~~~~~本件に関するお問合せ先~~~~~

ニューリー株式会社 〒613-0031 京都府久世郡久御山町佐古外屋敷125  
Tel:0774-43-3011 / Fax:0774-44-9288 / URL: <http://www.newly.co.jp>